

## 沖縄県民投票

**即時 埋め立て中止を!!  
政府は民意に応えよ!**

## 辺野古埋め立て「反対」7割超



写真：2019年2月25日 沖縄タイムス

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設に必要な埋め立ての賛否を問う県民投票が2月24日、投開票された。

その結果、3択のうち、埋め立てに「反対」は43万4,273票に上り、投票総数の71.7%を占めた。

「賛成」は11万4,933票で、反対が賛成の3.8倍に達した。

投票資格者総数は115万3,591人で、投票総数は60万5,385人。投票率は住民投票の有効性を測る目安とされる50%を超えて52.48%だった。

昨年9月の知事選で新基地建設反対を訴えて当選した玉城デニー知事が獲得した過去最多得票の39万6,632票も上回り、新基地建設反対の民意がより明確に示された。

安倍政権は、これまで辺野古新基地建設の是非が問われた知事選結果を民意として受け止めず、建設計画を強行的に進めてきた。

政府は、今回の沖縄の民意を厳粛に受け止め、即時「埋め立て中止」＝「辺野古新基地建設中止」すべきである。

JR総連は、沖縄の仲間をはじめ、新基地建設に反対するすべての仲間たちと連帯してたたかっていく。



図：2019年2月25日 NHK